

献立ひとくちメモ

1月23日(月)



全国学校給食週間のお話です。

学校給食の充実と発展を図る目的で、1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」と文部科学省が定めています。学校給食は、明治22年(1889年)に山形県鶴岡町(現在の鶴岡市)の私立忠愛小学校で、貧しい家庭の子どもたちに昼食を提供したことが発祥とされています。その後、給食の取り組みは全国各地へと広がりました。高松中学校では、今日から31日までを全国学校給食週間の期間とします。明治時代から現在までの給食を順番に再現した給食が登場しますので、給食を通して学校給食の歴史を学びましょう。

今日は明治22年最初の給食とされているメニューです。忠愛小学校は大督寺というお寺の中にあり、お坊さんたちが米や野菜、魚などで食事を作って、無償で提供していました。当時はおにぎり1個だけでしたが、魚や漬物など、だんだん品数が増えていったそうです。